



紫雲児の心



2月22日に3年生の同窓会入会式が行われました。新会長の小泉茂様、副会長の山鳥猛雄様、松田優子様からご出席いただき、小泉会長から激励の言葉をいただきました。本年度の卒業生59名を加え、卒業生(同窓会員)が1万人を超えました。なお、これまで同窓会長を務めてこられた間藤陽一様は、顧問として同窓会を見守っていただくことになりました。

第75回卒業証書授与式の式辞から(抜粋)

校長 山田 清

さて、59名の卒業生の皆さん。卒業おめでとうございます。

私が赴任した3年前、皆さんは紫雲寺中学校の新生として入学してきました。私達はいわば同級生です。皆さんの成長を思い、特別な思いをもって私は今日を迎えています。

1年生の途中までは、通常の学校生活でした。しかし、その後の2年間はコロナに翻弄され、様々な制約を受けながらの学校生活でした。

関西方面の予定だった修学旅行も県内1泊となりました。残念な気持ちもあったと思いますが、皆さんは不満を口にする事もなく、上越・十日町方面の修学旅行で多いに学び、大いに楽しんでくれました。

無観客での実施となった今年度の体育祭。1, 2年生のあこがれとなるその姿が心に焼き付いています。そして、閉会式での団長挨拶のあとの鳴り止まない拍手。そんなすばらしい体育祭にしてくれた3年生でした。

私は皆さんに対して二つの願いをもっています。一つ目は、社会の一員としてたくましく生きてほしいということ。二つ目は、皆さん一人一人に幸せな人生を送ってほしいということです。

本年度の生徒会スローガンは『Get Over』(乗り越える)でした。これからの人生、いやなこと、苦しいこと、恥ずかしいことなどがたくさんあることと思います。でも、皆さんには、たくましくそれらを乗り越えてほしいと願っています。大きな試練、大きな仕事が目前にあっても、まずは取りかかり『今日も一つ、明日も一つ』の精神で、前に進んでください。

二つ目の願い、幸せな人生については、人それぞれです。命の次に大切なものは人によって違います。他人が大切にしていることを尊重しながら、他人が何と言おうと自分が大切にしているもの第一に、幸せを求めてください。他人の基準で幸せかどうかは決まらないのです。

